

第 49 回通常総会および第 18 回年次学術講演会

昭和 38 年度通常総会（第 49 回）および第 18 回年次学術講演会は下記日程で京都市において開催いたします。

	日	時	場 所
● 通常総会	38 年 5 月 24 日（金）	14.00~17.00	京 都 会 館
● 総合講演	25 日（土）	9.00~12.00	京 都 大 学
● 年次学術講演会	25 日（土）	13.00~17.00	京 都 大 学
	26 日（日）	9.00~17.00	京 都 大 学
● 懇 親 会	25 日（土）	18.00~19.30	京 都 国 際 ホ テ ル
● 見 学 会	27 日（月）	28 日（火）	未 定



総会、懇親会、見学会、講演概要などの参加申込方法は追ってプログラムでお知らせいたします。年次学術講演会に講演ご希望の方は、つぎの講演申込要領をご覧のうえ必ず **2 月 20 日（水）** までにお申込み下さい。

年 次 学 術 講 演 会 申 込 要 領

(1) **講演申込方法**：講演希望者は申込カード（4枚複写綴、第1枚目は所属支部の控え、第2枚目・第3枚目は大会係用、第4枚目は講演者の控え）に部門・題目・スライドの有無・勤務先・会員種別・学位・氏名（連名の時は講演者に○印をつける）・卒業学校名および年次・連絡先を明記のうえ、2月20日（水）までに所属支部にお申し込み下さい（関東地区は本部）。申込みカードは各支部へ請求して下さい。各支部では講演申込カード（1題につき2枚）をまとめて（大阪市天王寺区堀越町110番地 天王寺ステーションビル4階土木学会関西支部気付）土木学会大会係までただちにお送り下さい。講演にスライド（35mm版）を利用することができます。

(2) **講演内容**：講演は未発表のもので原則として1人1題にかぎります。

(3) **講演時間**：講演時間は15分とし、数編の講演後にまとめて討議時間を設けます（予定）。

(4) **講演部門**：講演部門は原則として、土木学会論文集委員会の部会による予定ですから、ご希望の部門をお知らせ下さい。なお都合により部門を講演者の了承を得たうえで変更させていただくことがあります。

第1部門：応用力学，構造力学，橋梁等

第2部門：水理学，水文学，河川，港湾，海岸工学，発電水力，衛生工学等

第3部門：土質力学，基礎工学，土木機械，施工等

第4部門：鉄道，道路，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，空港，測量等

(5) **原稿提出要領**：講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。

1. 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写しオフセット印刷とするから必ず所定の用紙をご使用下さい。

2. 用紙は執筆要領（原稿の書き方）とともに講演申込者に所属支部からお渡します。

3. 原稿は**3月25日（月）**（期限厳守）までに所属支部に必着するようお送り下さい。各支部では講演申込者の原稿をまとめてただちに、上記土木学会大会係までお送り下さい。

4. 原稿の長さは1題目について2ページ（図表、写真とも）を原則とします。特に超過する場合（超過は2ページまでに限る）は**2,000円**の製版料を申し受けます。

(6) **講演概要**：講演者（○印）には、関係部門概要1部無料、一般は有料（追って広告します）、抜刷は、講演者（○印）には20部無料、20部を越える分ならびに連名の方には実費でお頒けしますから、講演申込カードに超過分の希望部数をご記入下さい。

(7) **本部ならびに** 本 部：東京都新宿区四谷1丁目 電話（351）代 5138

各支部所在地

北 海 道：札幌市平岸 北海道開発局土木試験所研修係内 電話札幌（83）4161 内線5

東 北：仙台市北三番丁124 建設省東北地方建設局内 電話仙台（2）4191

中 部：名古屋市中村区笹島町1丁目 近畿日本鉄道KK名古屋営業局技術部内 電話笹島（54）3331

関 西：大阪市天王寺区堀越町110番地 天王寺ステーションビル4階 電話大阪（716）7881-9

中国四国：広島市小町33番地 中国電力KK土木部内 電話広島（4）0211

西 部：福岡市福岡町1番地 運輸省博多港工事事務所内 電話博多（74）6538

土木学会，その他行事案内

月 日	行 事	備 考
2月4日(月)～9日(土)	科学研究費・特定研究・機関研究・各個研究・研究成果の刊行等提出書類締切	2号6ページ参照
2月9日(土)	第4回学生のための映画会(関西支部)	2号4 "
2月10日(日)	東北支部講演概要締切	2号4 "
2月11日(月)	第5回学生のための映画会(関西支部)	2号4 "
2月14日(木)～20日(水)	科学研究費・総合研究・試験研究等提出書類締切	2号6 "
2月16日(土)	第16回関東地区学生諸君のための映画会	2号2 "
2月16日(土)	コンクリート用接着剤に関するシンポジウム講演申込締切	2号3 "
2月16日(土)～17日(日)	河川災害に関する水理学シンポジウム	2号2 "
2月20日(水)	土木学会第18回年次学術講演会講演申込締切	2号1 "
"	第8回海岸工学会議報告会	2号2 "
2月21日(木)～22日(金)	水資源に関する講習会(関西支部・申込締切2月5日)	1号4 "
2月22日(金)～23日(土)	塑性設計シンポジウム	2号5 "
3月6日(水)	近畿の土木事業に関する座談会	2号4 "
3月19日(火)	最近の基礎工法を主とした講習会(名古屋市)開催	2号3 "
3月25日(火)～27日(水)	基礎のための土質工学講習会(関西支部)	2号4 "

第16回関東地区学生諸君のための映画会

定例による建設技術フィルムライブラリーと共催の第16回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますから多数ご来会下さい。一般会員の方のご来会も歓迎いたします(入場無料)。

1. 開催日時：1963年2月16日(第3土曜日) 14.30～16.30
2. 会 場：土木学会会議室(東京都新宿区四谷1丁目，外濠公園入口)
3. 上映映画：① 躍進する鉄道技術 ② 地下鉄第一部 ③ レール ④ ケーブルカーの話 ⑤ 地図

河川災害に関する水理学シンポジウム開催

災害科学総合研究班河川専門分科会(主任・京都大学教授 石原藤次郎)で各専門の方々による河川災害に関する水理学のシンポジウムが本学会の後援のもとに下記要領により開催されます。討議課題の解説は誌10月号46～47ページの寄書欄に掲載してありますので，これを御参照の上，既報の申込み期日にとらわれず，多数の方が討議に御参加下さいますよう御案内いたします。

1. 期 日：1963年2月16日(土) 13.00～18.00 17日(日) 9.00～18.00
2. 場 所：日本化学会講堂(東京都千代田区神田駿河台1の5 TEL(291)0631)
国電お茶の水駅(水道橋側出口(下車，徒歩3分，明治大学大学院裏
3. 討議課題：1) 洪水解析と洪水予報 2) 土砂の生産と輸送 3) 河道設計法に関する水理学的諸問題 4) 水理構造物に関する水理学的諸問題
4. 討議および出席申込み：簡単な質問形式でも結構ですから，勤務先，氏名，連絡先をそえて至急お申し込み下さい。
5. 申 込 先：京都市左京区吉田本町 京都大学工学部土木工学教室内 災害科学総合研究班 河川専門分科会

第8回海岸工学会議報告会開催について

昨年11月5日～9日の間，メキシコ市において開催されました第8回海岸工学会議に出席されたつぎの方々による報告会を下記により開催いたしますので，知友お誘い合せ御出席下さい。

記

1. 日 時：1963年2月20日(水) 16.00～18.00
2. 会 場：土木学会会議室(東京都新宿区四谷1丁目)
3. 報 告 者：
 - (1) プログラム・一般説明 京都大学 岩垣 雄一
 - (2) 会議発表論文の概要について
京都大学 岩垣 雄一 運輸省 井島 武士
北海道大学 岸 力 東京大学 堀川 清司

最近の基礎工法を主とした講習会（名古屋市）開催のお知らせ

昭和 37 年度夏期講習会（最近の基礎工法）は、会場の都合で約 200 名以上の方々には不本意ながら、やむを得ず、お断りし、御迷惑をお掛けしましたが、それらの方々および都合で夏期講習を受講できなかった方々のために、本部、中部支部の共催で最近の基礎工法を主とした講習会を名古屋市で下記のとおり開催いたしますから、多数ご来聴下さるよう切望いたします。

1. 日 時：1963 年 3 月 19 日（火）
2. 会 場：名古屋市公会堂 4 階ホール（鶴舞公園内 名古屋市昭和区鶴舞町 電話 名古屋（73）7191～8）
3. 講習時間、題目および講師

9.00～9.10	支部長挨拶	土木学会中部支部長	中 谷 茂 一
9.10～11.00	地盤調査その他について	名古屋大学教授	市 原 松 平
11.10～12.20	鋼ぐい基礎	建設省建築研究所構造研究室長	大 崎 順 彦
13.00～14.20	基礎工事の機械化	首都高速道路公園理事	中 島 武 一
14.30～15.30	国鉄新幹線の基礎	国鉄名古屋幹線工事局技師	岩 橋 洋 一
14.40～16.50	名神高速道路の基礎	日本道路公団高速道路名古屋建設局 名神技術 第 2 部名神技術 第三課長	山 口 素 直
17.00～18.00	地下鉄施工法	名古屋市交通局高速鉄道建設部長	伊 藤 太 郎

4. 教 材：最近の基礎工法（受講者には無料進呈）
（定価 1000 円）

5. 会 費：講習会費 会員 1200 円 会員外 2000 円
教材不要受講のみ 500 円

6. 申込方法：3 月 15 日（金）までに会員の種別、氏名、住所、勤務先を適宜の用紙に記入して会費を添えてお申込み下さい。また班組織のある職場班の方は班長において、取りまとめてお申込み下さい。
会費はいずれも必ず前納して下さい（郵便為替または現金書留）。

7. 申 込 先：土木学会中部支部（名古屋区中村区笹島町 1 の 232 近畿日本鉄道 KK 名古屋営業局技術部内・電話名古屋（54）3331 内線 31）

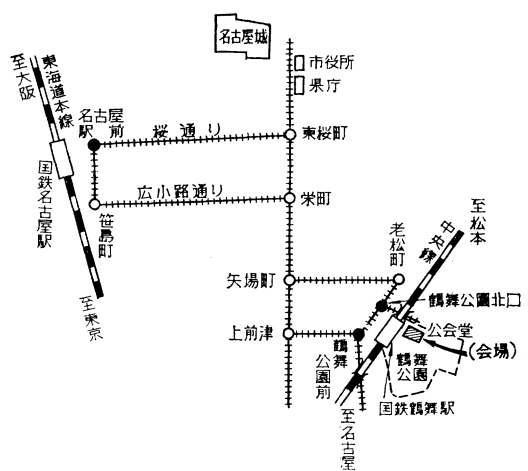
会場行案内

国鉄名古屋駅前より市バス 2 系統が鶴舞公園（会場）を通ります。

乗場標示番号 行 先

- | | | |
|---|------|------------------------------|
| 6 | ⑥杖中 | 名古屋駅前→笹島町→栄町→矢場町→老松→公園北口（下車） |
| 7 | ⑦松田橋 | 名古屋駅前→笹島町→栄町→矢場町→上前津→公園前（下車） |

会場行案内図



コンクリート用接着剤に関するシンポジウム開催について

コンクリート用接着剤に関するシンポジウムを下記のように開催いたしますのでふるって御参加下さるよう御案内いたします。

期 日：1963 年 4 月 19 日（金）

場 所：東京（決定次第お知らせします）

上記シンポジウムの講演題目を募集いたしますので、下記の要領をお含みのうち、ふるって御応募下さい。

申込期限：2 月 16 日（土）

申 込 先：土木学会（プログラム作成の必要上、期日を御厳守下さい）

申込要領：講演題目、講演者氏名を記し、内容梗概（1000 字以内）を付して申込むこと。

注：1）講演時間は約 15 分を予定しております。

2）講演題目の選定、その他の細目については、コンクリート委員会に御一任下さい。

3）内容梗概は当日印刷して実費配布する予定です。

4）シンポジウム終了後、研究成果を土木学会で出版することも考えておりますので、講演原稿を当日御持参下さるようお願いいたします。

東北支部行事案内

(仙台市北三番丁124 東北地方建設局内)

昭和37年度技術研究発表会

1. 日 時：1963年3月中旬
2. 場 所：仙 台 市
3. 参 加 者：土木学会会員および一般技術職員とし、発表者、聴講者あわせて130名程度とする。
4. 参 加 費：無 料
5. 研究発表：論題自由 講演時間 30分以内
6. 講演概要：400字詰原稿用紙 15枚以内 発表希望者は論文を2月10日までに土木学会東北支部へ提出すること、説明用の図表等は発表当日持参すること
7. 論 文：論文は一括集録し「昭和37年度技術研究発表会講演集」を印刷して全参加者に無償交付する。
8. 発表者に記念品を贈呈する。

関西支部行事案内

(大阪市天王寺区堀越町110番地 天王寺ステーションビル4階)
(電大阪(716)7881~9番 内線336番, 振替口座大阪82599番)

(1) 近畿の土木事業に関する座談会

1. 日 時：1963年3月6日(水) 15時~17時
2. 場 所：中央電気倶楽部 203号室 電(362)6351 大阪市北区堂島中2丁目 市電停堂島中町西入る南側
3. 参 加 費：無 料
時の話題について座談会を催しますからふるってご参加下さい。収容人員は60名ですのではや目にお越し下さい。

(2) 学生のための映画会(第4回)

1. 日 時：1963年2月9日(土) 13時より
2. 場 所：京都大学工学教員養成所講堂 宇治市五ヶ庄 京阪電鉄宇治線黄檗駅下車南方向約300m
3. 参加者資格：土木学会学生員(正員の方の参加も歓迎します)
4. 上映映画：黒部峡谷(40分) 地底の凱歌(60分) 建設の機械化 道路編(30分) 建設の機械化 敷地編(30分) 建設の機械化 埋立編(25分)
5. 定 員：200名(満員の節はお断りすることがあります)
6. 参 加 費：無 料

(3) 学生のための映画会(第5回)

1. 日 時：1963年2月11日(月) 15時より
2. 場 所：神戸大学工学部大教室(305号) 神戸市灘区六甲台町 阪急電鉄六甲駅下車,市バス利用外大前下車北方約300m
3. 上映映画：摩耶埠頭建設の記録 第1篇(24分) 建設進む名神高速道路(15分) 脇谷橋(30分) 合成桁橋実験(20分) ステンレス鋼管(25分)
4. 定 員：250名(満員の節はお断りすることがあります)
5. 参 加 費：無 料

(4) 水資源に関する講習会(1963年2月21日,22日の両日) 詳細は学会誌1月号をご覧ください。

(5) 「基礎のための土質工学」講習会

主催 土質工学会関西支部 協賛 {日本建築学会近畿支部
土木学会関西支部}

1. 申 込 先：大阪市東区杉山町1 近畿地方建設局大阪国道工事事務所内 土質工学会関西支部 電大阪(941)7993番
2. 期 日：1963年3月26日(火),27日(水)の両日

3. 場 所：大阪府職員会館 電大阪（941）0351 番（大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西裏）

4. 題目と講師：

第 1 日（3月 26 日）

- | | | |
|---------------|----------------|---------------------|
| ① 9.40～10.50 | 地盤調査および基礎型式の選定 | 土質工学研究所長 工博 森 田 紀 元 |
| ② 11.00～12.10 | 基礎地盤の地質 | 阪市大理講師 理博 竹 中 準之介 |
| ③ 13.10～14.20 | 粘土の圧密と沈下計算法 | 京大防災研助教授 工博 柴 田 徹 |
| ④ 14.30～15.50 | 土の強度と安定計算法 | 阪市大講師 工博 三 笠 正 人 |
| ⑤ 15.50～17.00 | 土圧論と根切り工の諸問題 | 八幡製鉄 工博 石 井 靖 丸 |

第 2 日（3月 27 日）

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------------|
| ⑥ 9.30～10.40 | 浅い基礎の支持力 | 京大工教授 工博 赤 井 浩 一 |
| ⑦ 10.50～12.00 | 深い基礎の支持力 | 竹中工務店 遠 藤 正 明 |
| ⑧ 13.00～14.10 | 杭, ウェル, ケーソンの設計 | 白石基礎 工博 白 石 俊 多 |
| ⑨ 14.20～15.30 | 地盤反力と不等沈下の問題 | 京工繊大助教授 工博 山 羽 邦 男 |
| ⑩ 15.40～16.00 | 基礎の振動と耐震 | 阪大工講師 工博 鳥 海 勲 |
| ⑪ 17.00～17.40 | 建築基礎構造設計規準について | 阪大工助教授 工博 馬 場 善 雄 |

5. 定 員：400 名

6. 参加費：500 円（テキスト代をふくむ）

7. 申込期限：1963 年 3 月 11 日（月）

8. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記のうえ参加費 500 円を添えて 3 月 11 日おでに土質工学会関西支部へお申込み下さい。参加章をお送りしますから、当日は必ずご持参下さい。

9. その他：テキストのみの希望者には一部 400 円でお頒ちします。

（注）：上記講習会は 2 月の予定が 3 月に変更になりましたので御了承下さい。

（付）テキスト頒布について

都市環境衛生 体裁：B 5 版 130 ページ 頒価 350 円 送料 70 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部（振替口座利用）へお申し込み下さい。

塑性設計シンポジウム開催について

1. 主 催：日本溶接協会 塑性設計研究委員会

2. 後 援：土木学会、日本建築学会、溶接学会、造船協会、日本航空学会、日本機械学会

3. 期 日：1963 年 2 月 22 日（金）、23 日（土）10.00～

4. 会 場：大阪市中央電気クラブ（大阪市北区堂島中二丁目九番地）

5. 講演題目：2 月 22 日（金）

- | | | |
|---------------|-------------------|-------------------------|
| ① 10.00～11.00 | 圧縮材の塑性挙動 | 日本大学工学部教授 倉 西 正 嗣 |
| ② 11.00～12.00 | 板構造における塑性設計の最近の動向 | 石川島播磨重工技研構造研究室長 秋 田 好 雄 |
| ③ 13.00～14.00 | 構造部材の塑性断面係数について | 日本海事協会技研船体研究室長 山 口 勇 男 |
| ④ 14.00～15.00 | 鋼床板の極限設計における問題点 | 東京大学工学部助教授 伊 藤 学 |
| ⑤ 15.00～16.00 | デリックポストにおける塑性設計 | 東京大学工学部助教授 藤 田 謙 |

討議（第 1 日）

2 月 23 日（土）

- | | | |
|---------------|--------------------|--------------------|
| ⑥ 10.00～11.00 | 骨組構造における塑性設計の最近の動向 | 東京大学工学部教授 奥 村 敏 恵 |
| ⑦ 11.00～12.00 | 塑性設計の基準化について | 東京大学生研助教授 田 中 尚 |
| ⑧ 13.00～14.00 | 折板構造の塑性設計 | 日本大学工学部助教授 榎 並 昭 |
| ⑨ 14.00～15.00 | 高層建築における耐震設計の方向 | 東京大学工学部助教授 加 藤 勉 |
| ⑩ 15.00～16.00 | 人道橋の塑性設計について | 桜田機械工業研究室長 前 田 幸 雄 |

討議（第 2 日）

5. 会費・その他：会費は会員、会員外を問わず無料とし、テキスト代は一部につき 1000 円と致します。他に塑性設計研究委員会資料集その 1「塑性断面係数」を実費 400 円で頒布します。テキストおよび資料集は塑性設計研究委員会の会員会社のみ一部に限り無料と致します。

6. 申 込 先：日本溶接協会塑性設計研究委員会（東京都千代田区神田佐久間町 1 の 11）

なお、申込みは当日会場でも受付ます。

昭和 38 年度科学研究費等の公募期日についてのお知らせ

昭和 38 年度科学研究費等の公募要領の連絡が文部省よりありましたのでお知らせいたします。

提出期間、必要書類等一覧表

研究の種類	提出期間	必要書類	提出部数
特定研究	2月4日(月)～9日 (土)正午まで	特定研究計画調書(研究代表者または研究担当者作成) {甲 承諾書(総合研究の場合は, 研究代表者と異なる機関に所属する研究分担者のみ) (研究代表者作成) 特定研究計画調書一覧(研究機関代表者作成)	1 2 左記カッパ書き の研究者ごとに 1 2
		機関研究計画調書(研究担当者作成) {甲 機関研究計画調書一覧(研究機関代表者作成)	1 2
機関研究	2月4日(月)～9日 (土)正午まで	各個人研究計画調書(研究担当者作成) 各個人研究計画調書一覧(研究機関代表者作成)	1 2
各個人研究		1 2	
総合研究	2月14日(木)～20日 (水)午後5時まで	総合研究計画調書(研究代表者作成) {甲 承諾書 " " 総合研究カード " " 総合研究計画調書一覧(研究機関代表者作成)	1 1 1 1 1 2 研究者ごとに
		試験研究計画調書 承諾書 試験研究カード(以上研究代表者作成) 試験研究計画調書一覧(研究機関代表者作成)	1 1 1 2 研究者ごとに
試験研究	2月14日(木)～20日 (水)午後5時まで	1 1 1 2 研究者ごとに	

○以上については, 文部省大学学術局研究助成課(電話(581)4211 内線243・441)で取扱っている。

研究成果の刊行	学術定期刊行物	2月4日(月)～9日 (土)正午まで	学術定期刊行物計画調書	1
			出版経費見積書 カード	1 1
			最新刊の学術定期刊行物(学協会等の代表者作成)	1
	学術図書	2月4日(月)～9日 (土)正午まで	学術図書刊行計画調書	1
			出版経費見積書 カード	1 1
			原稿の見本(原稿用紙4, 5枚程度)(著作権者作成)	1
二次刊行物	2月4日(月)～9日 (土)正午まで	二次刊行物刊行計画調書	1	
		出版経費見積書 カード	1 1	
		最新刊の二次刊行物または原稿の見本(原稿用紙4, 5枚程度)(二次刊行物の刊行者作成)	1	

○以上については, 文部省大学学術局学術情報室(電話(581)4211 内線432・216)で取扱っている。

備考 申請に必要な書類の用紙は, 日本学術振興会(東京都台東区上野公園 日本学術会議内 電話(821)4522・4523)で実費頒布しているから, 必ずそれを御使用ください。

COASTAL ENGINEERING IN JAPAN VOL. V 刊行について

標記の英文図書が学会より刊行され, 目下実費で頒布しておりますのでご希望の方はお申込み下さい。

本文は 10 編の論文よりなりわが国の海岸工学の現状をわかりやすく編集してありますので, 研究者の座右に備えられるとともに広く海外へご紹介下さい。

体 裁: B5判 160 ページ 図表多数 上質紙使用

頒 価: 1,200 円(千 70 円)

会員特価: 1,000 円(千 70 円)

申 込 先: 社団法人 土木学会 東京都新宿区四谷一丁目 振替 16828 番